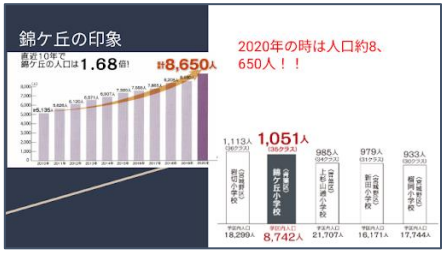
# リーディングDXスクール事業　【実践事例】

仙台市立錦ケ丘小学校（仙台市）

## 【取組内容②】オンラインを活用した他の自治体の学校との交流学習

【概要】国語科「町の未来をえがこう（町の幸福論ーコミュニティデザインを考える）の単元で，Google meetを利用し宮城県登米市の小学校と交流学習を行った。地域の特色や生活環境の異なる小学生を相手に発表するという機会を設定することで，プレゼンテーションの構成の工夫という単元の学習のねらいに則して学びを深めることができた。

### ①「お互いの町の現状について伝え合う」




錦ケ丘の基本情報（位置・人・施設・交通など）や地域課題について、それぞれが情報収集し、まとめた資料をもとにプレゼンを行った。また、お互いのプレゼンを聞き合い、感じたことや考えたことなどをGoogleアプリで交流しようとしたが、アカウントの壁があり、ねらい通りには実施できなかった。

### ②「お互いの町の未来について伝え合う」

交流①で得た地域に対する気付きを参考に考えた錦ケ丘の未来についてプレゼンを行った。地域の特色が異なる相手に発表するために、より分かりやすい資料が作成できた。

感想交流には、オンライン掲示板アプリを活用した。リアルタイムで互いの考えを知ることで達成感につながった。